

北陸石仏の会々報

庄川町小牧の石仏たち

尾田 武雄

富山県砺波市庄川町小牧は、関西電力の小牧（こまき）ダム下流左岸の集落である。本来右岸の南砺市利賀村大牧（おおまき）に対して、この集落は小牧（おまき）であるが、関西電力がこの小牧ダムを「こまき」と命名し呼ぶようになり、集落名が混同されている。このダムは昭和十四年に完成し、当時東洋一のダムとして知られ、現在国登録文化財に指定されている。集落は小さいが、字村中に八幡宮が鎮座している。そこには砺波型の左右共に阿形の狛犬が居る。台座には、「加藤組 加藤金次郎」と銘がある。加藤金次郎は小牧ダム請負業者加藤組の社長であった。その寄進によるものである。

この集落の上に小堂に入った三十三観音の一体である阿耨観音があり正面左右に「明治十八年九月建立」「彫工 森川栄次郎」とある。阿耨観音は岩上に坐して海を眺めるスタイルであるが、小堂脇に小川が流れている。この阿耨観音は水との関わりのある石仏である。そこから下流に歩くと聖徳太子南無石仏が、やはり朽ちたお堂の中に入っている。もう少し歩くと、高さ三・六メートル、幅三・二メートルの自然石に「明治三十七、八年 日露戦役記念碑」が堂々とある。その横にやや大きいお堂があり、そこには浮彫の釈迦如来坐像がある。「明治四年辛未十月 石工井波七次郎」とある。石工井波七次郎の作品は、南砺市福野の準堤寺に石龕があり「文久三年」の年次在銘が



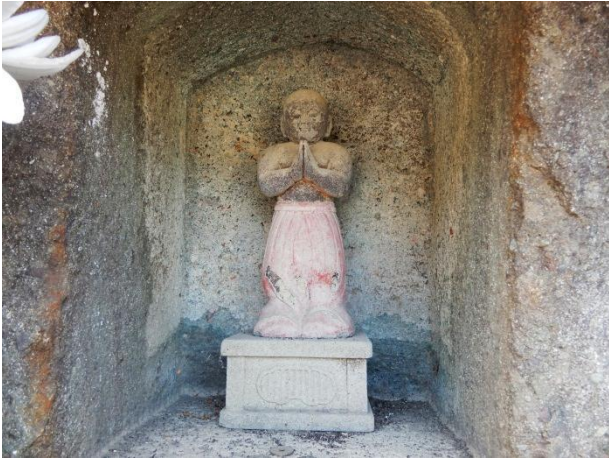
八幡宮の砺波型狛犬



あり、また慶應二年銘の不動明王が南砺市今里（旧井波町）神明宮にある。江戸時代末から明治期に活躍した石工なのであろう。このお堂の中には、三十三観音の内のきれいな一葉観音もあり、ここはいつも花が手向けられ信仰が息づいている。

第69号
 令和5年4月15日発行
 編集と発行
北陸石仏の会
 (日本石仏協会北陸支部)
 代表 平井一雄
 〒939-1315
 富山県砺波市太田
 1770 尾田武雄方
 電話 0763-32-2772
 振替 00740-2-11974
 (年会費 3000円)
 ホームページ
<http://odatakeo.wp.xdomain.jp/>

- ・ 庄川町小牧の石仏
- ・ 続・二臂の千手観音墓標
- ・ 閻魔とその周辺
- ・ 第64回例会案内



聖徳太子南無石仏



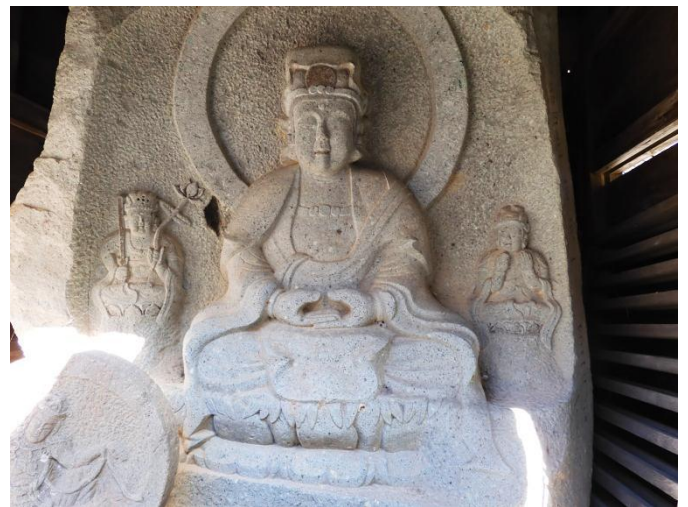
阿耨観音



日露戦役記念碑



一葉観音



釈迦如来坐像

続・近くにある二臂千手観音墓標といわれ

平井 一雄

『北陸石仏の会々報 第61号』で報告した二臂千手観音墓標を更に富山県旧大沢野町上大久保六区、富山市月岡地区上布目、旧大山町大庄地区下大浦、中大浦、田島鶏塚墓地に各一基づつ、計五基を確認したので報告する。

さらに「なぜ二臂の尊像が千手観音とされたのか」由緒を探ってみた。

西国三十三所観音札所第十番三室戸寺の御本尊は二臂の観音菩薩と称する一尺二寸の飛鳥金銅仏とされ、秘仏となっている。

宝亀元年（七七〇）のこと、光仁天皇、毎夜宮中 光の差し込むのを御覧になり右少弁犬養にその源を尋ねさせたところ三室戸山の奥、岩淵と称する清淵に到り、御長二丈余りとおぼしき千手観世音菩薩の靈容、光明赫奕として、幻の如く出現されるのを発見した。犬養、歡喜の余り清淵に飛び入り、抱きあげてみると、さきの尊容ではなく、御丈一尺二寸の二臂の像に化していた。事の始終をお聞きになった帝の叙感殊のほか深く、その処に伽藍を建てて像を安置して御室戸寺と号すよう勅命されたという。ついで桓武天皇は、最初出現の尊容にて御長二丈の尊像を、白檀木をもって作らせ、かの出現の一尺二寸の尊像を胎内に納めさせたという。応保元年（一一六一）三井寺覚忠の『三十三所巡礼記』に一尺千手観音を本尊とする三十三番目の観音靈場であったことが記されている。しかし寛正元年（一四六〇）食堂より出火し伽藍は烏有に失ってしまった。その際、桓武帝御願の大像は火災の中に消え失せたが出現の小像は火中より飛び出したという。長享三年（一四八九）伽藍再建成就し、かの小像を安置し、叙慮によりて勅使下向され、聖護院准后道興導師によりて堂供養、開帳の大法会が厳修された。これより以後、三十三年目ごと、ならびに御即位時に勅命により開帳がなされ、尊像の靈驗を求める諸人の参詣で賑わうこととなった。

『大慈大悲西国三十三所観音衆成』昭和六十一年五月発行より要旨抜粋

以上により二臂の尊像は靈容出現時の千手観音像、また焼失した白檀木御長二丈の千手観音像の尊名を称したのではなからうか。また墓標とするときの費用を考えると八臂など多臂とするより二臂のほうが石工への支出が少ないからではなからうか。



旧大山町大庄地区下大浦墓地



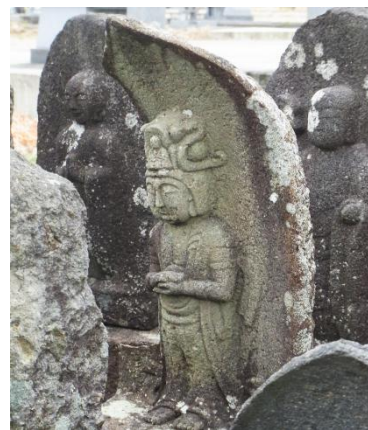
旧大沢野町上大久保六区墓地



旧大山町大庄地区中大浦墓地



旧大山町大庄地区田島鶏塚墓地



富山市月岡地区上布目墓地

閻魔とその周辺

滝本 やすし

閻魔堂や十王堂は各地に建てられているが、木像や絵像がほとんどであり、石像の作例は少ない。閻魔に關係する石像を訪ねてみよう。

1、福井県あわら市熊坂 路傍／十王、司命、脱衣婆

熊坂大仏の向かいに木造の小堂が建てられており、笏谷石製の十六体の石像（丸彫り十王十体、丸彫り司命一体、丸彫り奪衣婆一体、丸彫り地蔵一体、浮彫り地蔵一体、丸彫り地蔵二体）が納められている。懸衣翁は当初から造られなかったことが考えられるが、司命と司録とは通常は一对で造られるので、司録は後に失われてしまったのであろう。浮彫りの半跏地蔵は十王と同時期に造られたものである。

2、福井県坂井市坂井町長田 八幡神社境内／閻魔

八幡神社本殿左手の石造小祠内に、地蔵、千手観音、不動明王と共に閻魔の丸彫り像が窮屈に納められている。小像であるが、いちばん奥に納められているので胸から上しか見ることができない。火焰光背型の不動明王も奥の方に納められており胸から下を確認できないが、光背右部に「初七日不動」、左部に「…王為…」と刻まれている。千手観音はこれらと無関係のようであるが、地蔵は関連のあるものかもしれない。

3、石川県金沢市北塚 観音堂／十王、人頭杖、地獄像

北塚町の一角に建てられている木造の堂内に、観音、地蔵三体、三十九体の小さな観音、十王、人頭杖、地獄像などが納められている。いずれも土を固めて造られた泥像で、三十九体の小さな観音は三十三体観音などである。全ての石像が美しく彩色されている。二十年ほど前までは観音講が行われていたが、現在は扉に板が打ち付けられて完全に閉鎖されている。此処は尼寺の火葬場と墓地あった場所で、十王などの像はその頃に造られたものと考えられる。

4、富山県高岡市蓮花寺 高野山真言宗蓮華寺墓地／閻魔、司命、司録

蓮華寺墓地の無縁石塔群内に、三体の座像が浮彫りされた石塔がみられる。磨滅が激しく像容がはっきりとしないが、二体の脇侍が司命と司録とみられることから、中尊は閻魔と考えられる。石塔下部に文字が刻まれているが、判読できない。

5、富山県富山市水橋小出 路傍／閻魔

水橋小出路傍のコンクリートブロック製小堂内に、十一面観音、不動明王二体、青面金剛と共に閻魔が納められている。いずれも光背型の浮彫りで、青面金剛のみが立像であり、他は座像である。閻魔は一部に彩色の痕が残っている。光背に文字が刻まれているようであるが判読できない。また台石にも文字が刻まれているが、この台石は別物と思われる。

6、富山県立山町西大森 路傍／脱衣婆

西大森路傍のコンクリート製小堂内に九体の石仏が納められており、その手前に脱衣婆（おんば様）の石像が置かれている。立山町には他にもおんば様の石像がいくつかみられる。

7、その他の作例

富山県立山町芦嶮寺の立山室堂近くの玉殿岩屋に、十体ほどの石仏が納められている。この中に十王の残欠がみられるそうであるが、私は実見していない。

福井県越前市高瀬町一丁目曹洞宗宝円寺境内に近年数多くの石像が建てられており、その中に閻魔像がみられる。



福井県福井市東河原町樺八幡神社の木造十王（鎌倉時代）



2 坂井町長田八幡神社境内の閻魔



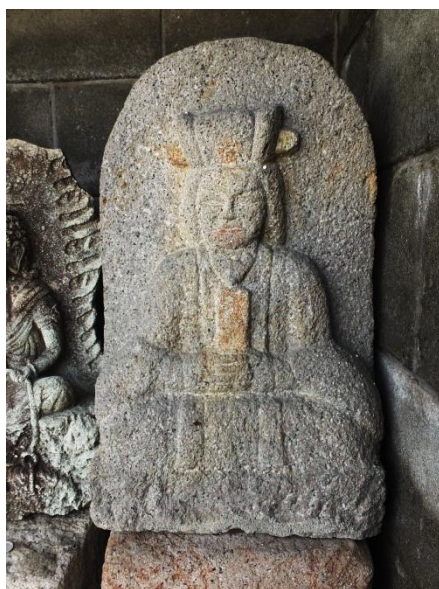
1 あわら市熊坂路傍の十王、司命、脱衣婆など



3 金沢市北塚観音堂の十王、人頭杖、地獄像など



6 立山町西大森路傍の脱衣婆



5 富山市水橋小出路傍の閻魔



4 高岡市蓮華寺墓地の閻魔、司命、司録

北陸石仏の会 第64回例会

富山県上新川郡

—旧大庄村と太田村の石仏めぐり—

令和5年5月28日(日)

参加費：2500円（ガソリン代、資料代等）

集合場所：①JR砺波駅南口……………7時30分

②富山地方鉄道上滝駅……………8時10分

申込方法：次の事項を記入の上、ハガキでご連絡ください。

住所、氏名、電話番号（携帯電話も）、集合場所

※集合場所および時間が不都合な方はご連絡下さい。

※感染対策を行い、乗用車に相乗りします。

申込先：〒939-1315 砺波市太田 1770 尾田武雄方 北陸石仏の会事務局

締め切り：令和5年5月12日(金)

案内：滝本やすし(石川県金沢市)

見学予定（富山県上新川郡旧大庄村、大田村）

◎富山市花崎 共同墓地／伝兵衛地蔵、六道供養塔

◎富山市花崎 路傍／阿弥陀三尊、馬頭観音、聖徳太子十六歳像ほか

◎富山市大栗 路傍／五劫思惟阿弥陀

◎富山市善名 路傍／青面金剛

◎富山市下番 下番神社／「疫神社」

◎富山市下番 公民館／半跏地蔵

◎富山市西番 柴垣家／堅牢地神

◎富山市西番 路傍／中世石塔群、准胝観音、青面金剛、「道祖神」ほか

◎富山市西番 観音堂／西國三十三ヶ所観音

◎富山市大場 神明社／「牛頭天王」

◎富山市石屋 曹洞宗省山寺／火天

諸事情により見学先を変更する場合があります。ご了承ください。

令和5年度の会費を同封の振替用紙にて納めてください。年会費は3000円です。